

Pi2の子午面内 Poloidal 成分 Poloidal component of Pi2 in the meridian planes

坂 翁介^{1*}, 林 幹治²
Osuke Saka^{1*}, Kanji Hayashi²

¹ オフィス ジオフィジク, ² 東京大学

¹OFFICE GEOPHYSIK, ²University of Tokyo

オーロラ帯の特定の緯度で Pi2 の H 成分の位相が逆転する事と、また同時に偏波も逆転する事は良く知られているが、その原因に子午面内 Poloidal 成分の関与があることが指摘されている(*)。ここでは、

(1) 磁気圏内の東向き電流 (反磁性電流) による Poloidal 成分の励起が地上磁場 H 成分の反転に現れる事を報告する。

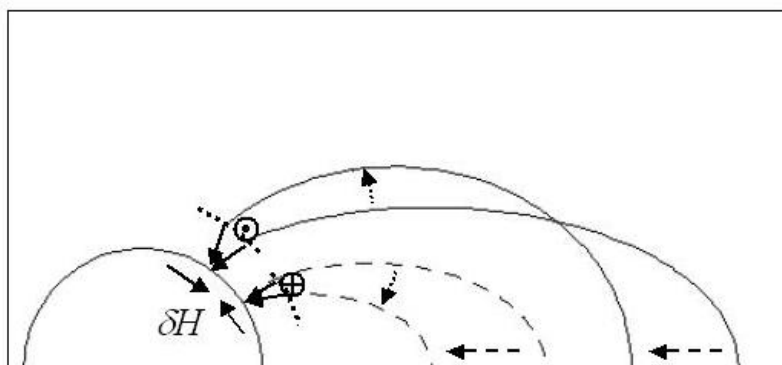
(2) オーロラとの同時観測から予測される Poleward expansion の Onset latitude と反磁性電流の位置関係について報告する。

References

* Saka, Hayashi, Koga, (JGR, 2012).

キーワード: Pi2 脈動, オーロラ ブレイクアップ, サブストーム, ポロイダル成分

Keywords: Pi2 pulsation, aurora breakup, substorm, poloidal component



Deformation of field lines in the meridian planes